

# 社会福祉法人中央会 令和7年度事業報告

## 【施設方針】

施設理念 「家のぬくもり、家族のつながり、地域のつながりのある暮らし」  
の実現に取り組む

## 1. 行動方針

(1) 令和6年度は介護報酬の見直しと地震保険やコロナの助成金等もあり、昨年度は前年度より事業活動収入は増額となったが、令和7年度はそれらの助成金分と小規模多機能が目標稼働率を達成できなかった事と、特養の入居者様の入院が相次いだ事が減収に繋がった。人員不足の中で稼働率を上げるために、業務内容やマニュアルの見直し、ICT機器の導入に踏み切った。しかし、結果として全体の稼働率アップまでには至らなかった。業務内容の見直しにおいては、特別養護老人ホームの入浴介助を1人から2人にすることで、安全かつ介助者の身体的・精神的不安軽減につながった。夜間のおむつ交換については、業者との勉強会や入居者様の状態に応じたアドバイス（オムツの種類や当て方）を頂き、おむつ交換の回数を見直した。結果、入居者様の睡眠の確保と夜勤帯の業務効率アップ、そしてオムツの消費削減に繋がっている。ICT機器については職員の受け入れ態勢を整えつつ、生産性向上加算Ⅰを取得することで更なる介護保険事業収入アップを目標としている。今年度は特別養護老人ホームの業務改善を中心に行ってきたが、目標稼働率に達していない事業所においても早急な見直しが必要であり、社会福祉法人中央会の職員全員で目標達成に向け取り組んでいく。

(2) 光熱費、水道費においては昨年に引き続き高騰は継続しており、節電対策をしている。今年度も金沢市物価高騰緊急対策福祉施設等食材費補助金として10月に395,000円、同じく金沢市から光熱費補助金として730,000円の助成を受けている。また、石川県より物価高騰対策支援金として1,752,000円が支給された。

給食委託会社メフォスの委託費においては、220万円の値上げ、コメ価格高騰から昨年に引き続き月約5万円の値上げがあった。（10万円／月）そこで、食事代金を令和5年2月に引き続き、昨年10月にもデイサービスでは100円、小規模多機能では145円の値上げを実施した。委託費においては今後も物価高騰に

伴い更なる値上げを控えている。

## 2. 施設の感染状況

コロナウイルス感染やインフルエンザウイルス感染は高齢者施設において重篤化は深刻な問題であり、感染予防として看護師を中心とした感染委員のラウンドを継続している。しかし、昨年の4月にグループホーム式番館でノロウイルス感染が発生し、11人が感染、そのうち5人が入院する結果となった。次亜塩素酸を使用しての消毒、グループホームでの調理を中止、食器類も全て使い捨てを使用することで終息に至った。それ以降、調理器具の使い分けや消毒・手洗いを徹底している。また、今年の3月にはデイサービスでコロナ感染が発生し、利用者10名と職員1名が感染した。（保健所に報告）感染が拡大した原因の一つに初動行動の判断ミスが考えられ、入浴方法やレクリエーションの内容、換気などの基本動作が十分に出来ていなかったと反省している。今後、同じミスを繰り返さないよう感染委員会で検討し、マニュアルの見直しを行った。

## 3. 感染対策と施設運営

面会については各事業所で時間と人数制限を設け、自室での面会を実施。中学生以下の場合はパブリックで面会して頂いている。11月に開催した特別養護老人ホームの家族懇親会では、昨年に要望を頂いていたご家族様との食事を楽しんで頂いた。食後は当日天候も良かったことから、家族単位で施設周辺を散策され各々の時間を過ごされ充実した一日となった。施設内レクリエーションではコロナ後初めてパブリックを利用し、米泉小学校マーチングバンドやジャズコンサートを開催した。特別養護老人ホーム・ショートステイ・グループホームの入居者様、小規模多機能の利用者も集う賑やかな音楽祭となり、次年度への弾みとなった。また、ドライブなどの外出レクリエーションも楽しまれた。

地域との交流はグループホームの入居者様が米泉校下の運動会に参加している。また、小規模多機能では米泉ドジャーズ（少年野球）と千羽鶴や応援うちわの交換など定期的に交流している。利用者様はその都度、ユニホーム姿で訪問してくれる子供たちとの面会を楽しみにされている。

## 4. 職員育成

令和6年度は「ケアプランに連動した介護記録」について学んだ。特別養護老人ホームは職員がケアマネージャーの計画に基づき、担当者の個別計画を立案、PDCAサイクルに沿って実行できるようになってきている。その結果、チームミーティングでも問題点の抽出や解決策についても話し合いが持てるようになった。

た。今年度は特別養護老人ホーム以外の事業所でも入居者様に応じた計画が立案でき、個別性を持ったケアを提供することを目標に取り組んでいく。外部研修では、ショートステイのリーダーが自ら希望され、ユニットリーダー研修を受講している。また、小規模多機能の主任が職員体制の再構築を目的に認知症対応型サービス管理者研修を受講したが、人員補充が行えず実行に至らなかった。秋に無資格の職員が入職され、初任者研修を受講後、現在は特養で勤務して頂いている。来年度は外国人実習生を迎えるにあたり、特別養護老人ホームの職員1名が介護福祉士養成実習施設実習指導者研修に参加している。

## 5. 職員の採用と定着

令和7年度は新卒者が1名入職され、現在も安定して働いて頂いている。しかし、退職者や新たに2名産休に入るなど、結果的に派遣社員数を減らすことが出来ず、支払は増額となっている。中途採用者は10名（そのうち3名は夜勤専従）が入職され、安定して働いて頂いている。現在の雇用者数は105名で平均年齢は依然として40代後半であり、数名は正規社員から非常勤社員に変更しながらも働いて頂いている。令和8年には3名が育休復帰を予定している。

## 6. 看取りの取組

令和7年度は4名の方の看取りを行った。特養の方で娘様が交互で泊まれ、お母様との最後の時間をゆっくりと過ごして頂いた。姉妹揃ってお母様を看取ることが出来たと感謝の言葉を頂いた。また、ショートステイでも1名の方の看取りを行った。特養への入居も検討したが、ご本人様が慣れた職員に看取られたいと強くご希望されてショートステイでの看取りとなった。今後、特に特養では入居期間が長くなられた方も居られ、出来る限りご家族様との時間をゆっくりと過ごして頂けるよう、要望に応じた看取りに取り組んでいく。

## 7. 経営基盤の強化と確立

### (1) 令和7年度目標達成状況

特別養護老人ホーム、ショートステイ、グループホーム、グループホーム式番館は令和7年度稼働率目標を達成する。しかし、特別養護老人ホームの入居者様も高齢となり、入院する機会が増えていることから病院との連携を持ちながら早期に対応してしていくことが必要である。

【令和 7 年度目標稼働率】

| 事業所                 | 令和 7 年度目標 | 結果     |
|---------------------|-----------|--------|
| 特養（定員 29 名）         | 97%       | 97%    |
| ショートステイ（定員 20 名）    | 98%       | 101.4% |
| グループホーム（定員 18 名）    | 97%       | 99%    |
| グループホーム式番館（定員 18 名） | 97%       | 97.8%  |
| 小規模多機能（登録 25 名）     | 88%       | 65.7%  |
| デイサービス（定員 35 名）     | 76.6%     | 74.2%  |

デイサービスは降雪による営業時間の短縮と、2 月～3 月にかけてのコロナ感染で利用者を制限したことが原因と考える。また、曜日のバラつきも稼働率の定着に至らなかった要因の一つである。小規模多機能は 6 月以降の稼働率低下が響く結果となった。

(2) 人件費について

前年度に比べ、人件費率は 65.8%と昨年より 0.1%減少したが、職員の高齢化に伴い数名が非常勤雇用となった事もあり、非常職員給与が増額となった。また、令和 7 年度は新規採用が 1 名と、退職者や育休復帰予定者の復帰延長で派遣職員費支出が 950 万円増加した。職員の離職防止を目的とし、7 月には正規職員の基本給見直しを実施。また、10 月からの最低賃金の値上げもあり、賃金テーブルの見直しを行った。

(3) 事業費について

前年度に比べ約 280 万円の増額となった。令和 7 年度も光熱費の高騰は続いており、石川県より光熱費・食材費の価格高騰に対しての補助金（175 万円）、金沢市より光熱費の補助金（73 万円）が支給された事で、光熱費は増額には至らなかった。しかし、食材料費の高騰により給食費支出とグループホームの食材費（米代金を含む）が大幅に増額となった。また、サイバー保険料として約 20 万円（年間）支払っている。

(4) 事務費について

今年度も給食委託費でメフォスより委託費の値上げ、4 名の人材紹介料を支払っているが、これまで委託していた給料計算を自社で行うことで約 160 万円削減できた。結果、前年度に比べ約 80 万円の減額となった。修繕費では埋め込み型エアコンの室外機が故障し、約 80 万円支払っている。

(5) 資産管理について

今年度も各事業所でエアコンの不都合が相次ぎ、直接利用者様に迷惑がかかるため 10 台を買い替えた。今後も順次買い替えが必要と思われる。パソコンも昨年度 16 台買い替えているが、今年度は更に 6 台購入している。送迎車では日本財団より助成金を頂き、日産バネットを購入し、約 78 万円を支払った。

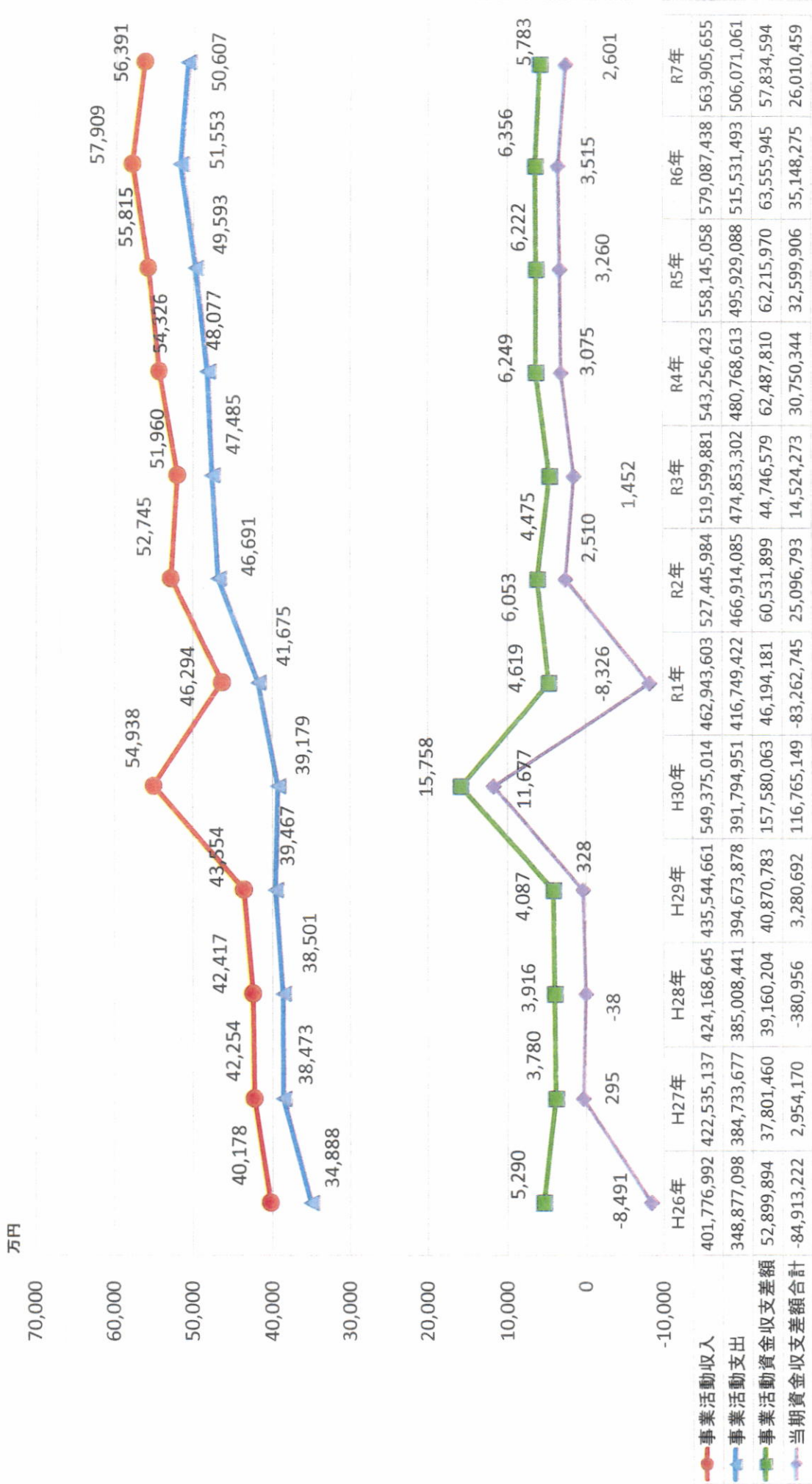
(6) 財務管理

本年度は 2,450 万円（利息を含む）を返済した。令和 12 年度で本館とグループホーム式番館の返済が完了完済となる。

(7) 資金収支活動の推移と報告（全体・事業所別）

次ページグラフ参照

(7) 資金収支活動の推移と報告（全体）

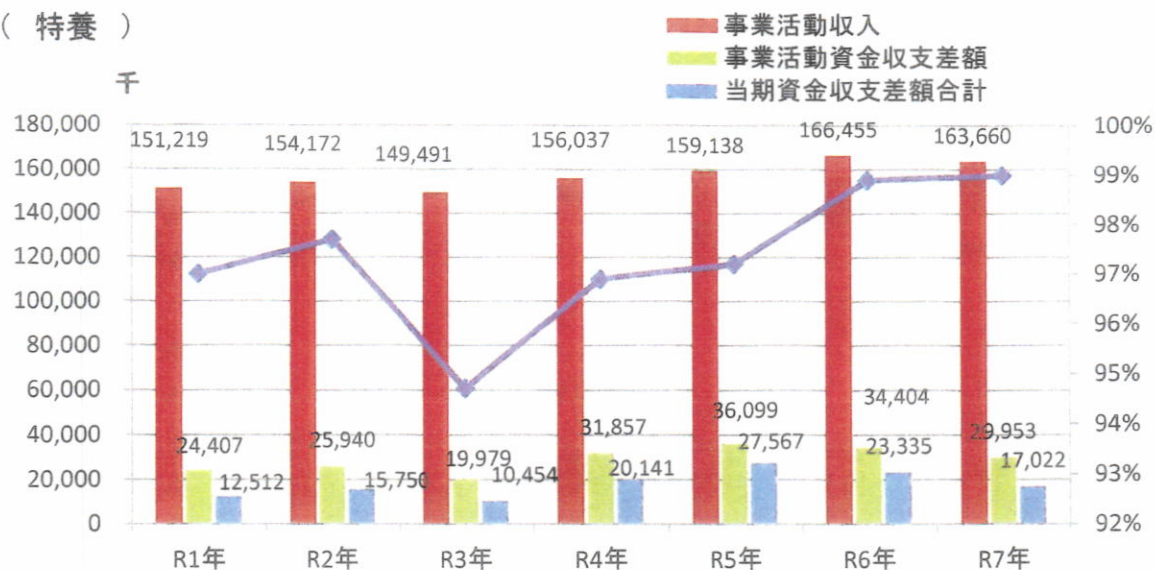


令和7年度収支報告

- ・事業活動収入は563,905,655円で前年度より15,181,783円減収だった。小規模多機能の稼働率低下と、特養の入院が相次いだことが原因と考える。
- ・事業活動支出は506,071,061円であり、9,460,432円減額となった。
- ・人件費率65.8%で、前年度の人件費率より0.1%とほぼ変わらなかったが、正規雇用が減った分、派遣職員費は昨年より約950万円増額となった。
- ・事業活動資金収支差額は57,834,594円で前年度より5,721,351円減収だった。
- ・当期資金収支差額合計は26,010,459円で、前年度より9,137,816円減収だった。

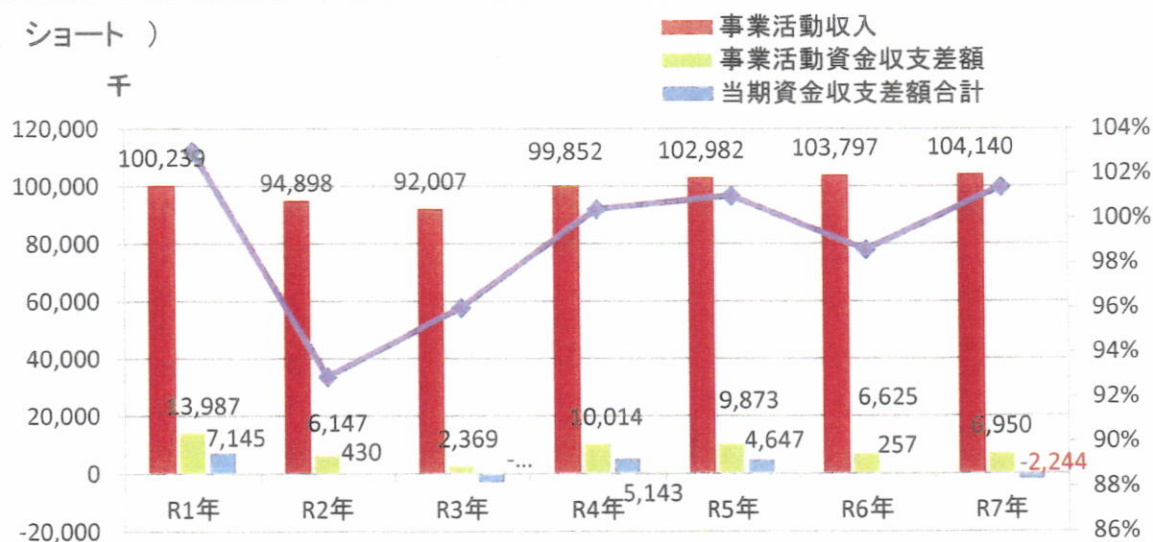
(7) 資金収支活動の推移と報告(事業所別)

( 特養 )



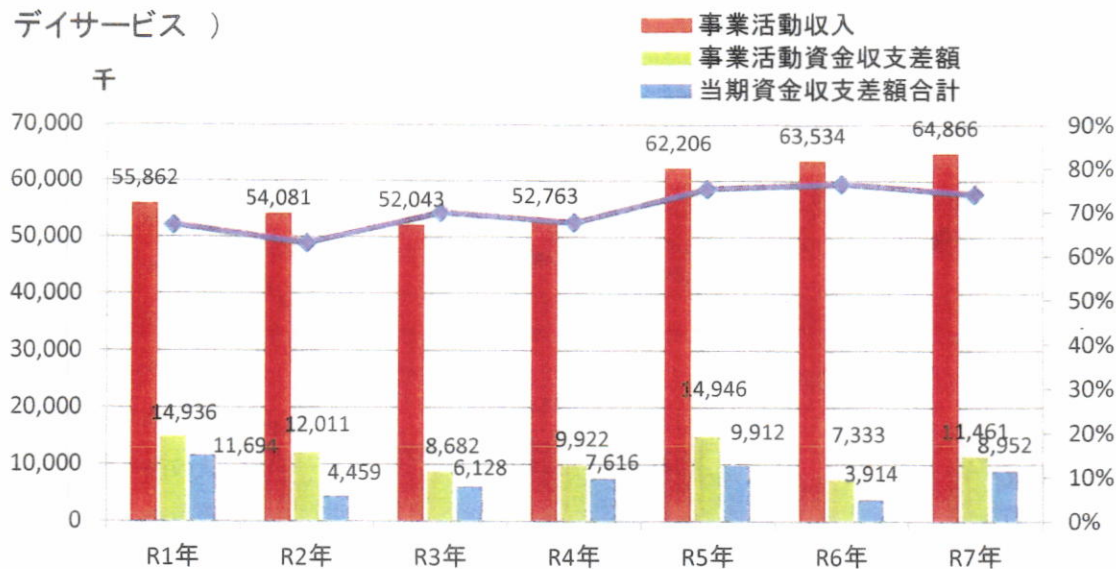
|            | R1年         | R2年         | R3年         | R4年         | R5年         | R6年         | R7年         |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 稼働率%       | 97%         | 98%         | 94.7%       | 96.9%       | 97.2%       | 98.90%      | 99.00%      |
| 事業活動収入     | 151,218,562 | 154,171,854 | 149,491,466 | 156,037,485 | 159,137,509 | 166,454,754 | 163,660,090 |
| 事業活動資金収支差額 | 24,407,410  | 25,940,125  | 19,979,405  | 31,856,616  | 36,098,832  | 34,403,563  | 29,953,274  |
| 当期資金収支差額合計 | 12,512,460  | 15,750,359  | 10,453,614  | 20,141,365  | 27,567,303  | 23,334,867  | 17,021,969  |

( ショート )



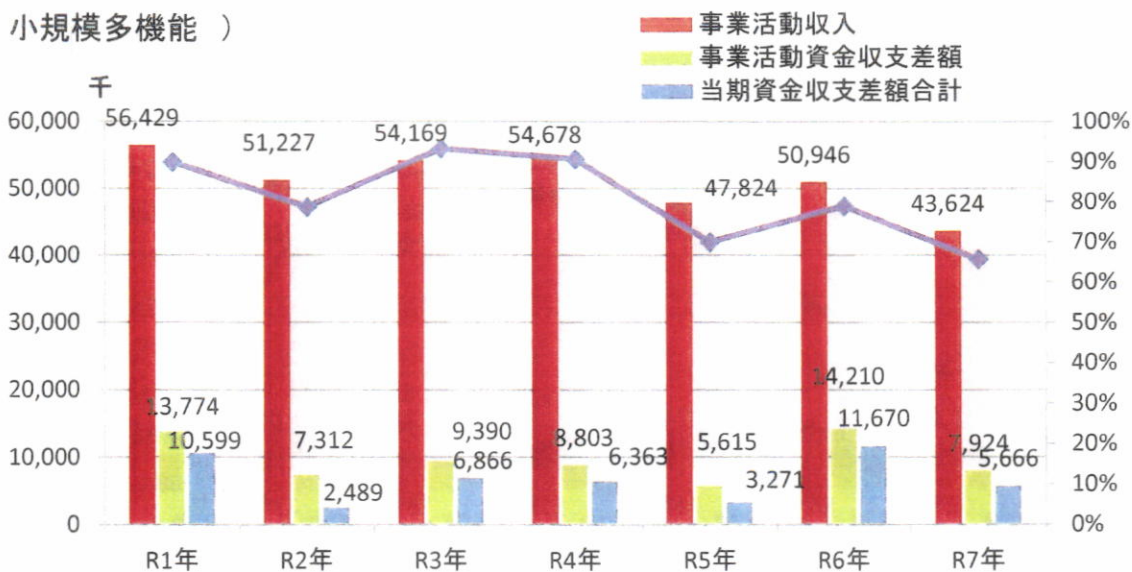
|            | R1年         | R2年        | R3年        | R4年        | R5年         | R6年         | R7年         |
|------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 稼働率%       | 103%        | 92.9%      | 96%        | 100.4%     | 101.0%      | 98.6%       | 101.4%      |
| 事業活動収入     | 100,239,468 | 94,897,901 | 92,007,320 | 99,851,981 | 102,981,993 | 103,796,957 | 104,140,165 |
| 事業活動資金収支差額 | 13,986,718  | 6,146,597  | 2,368,968  | 10,014,318 | 9,873,145   | 6,624,870   | 6,950,478   |
| 当期資金収支差額合計 | 7,145,253   | 429,647    | -3,150,757 | 5,143,343  | 4,646,738   | 257,278     | -2,243,694  |

( デイサービス )



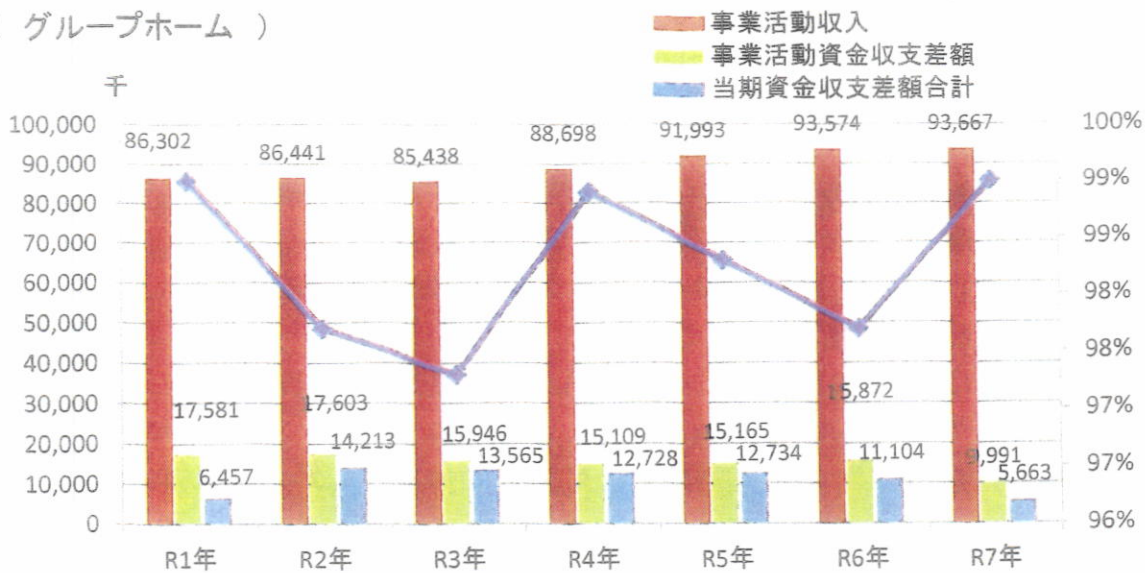
|            | R1年        | R2年        | R3年        | R4年        | R5年        | R6年        | R7年        |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 稼働率%       | 67%        | 62.9%      | 69.8%      | 67.6%      | 75.3%      | 76.5%      | 74.2%      |
| 事業活動収入     | 55,861,562 | 54,080,553 | 52,042,696 | 52,763,255 | 62,205,638 | 63,534,252 | 64,865,678 |
| 事業活動資金収支差額 | 14,935,702 | 12,010,639 | 8,681,872  | 9,921,840  | 14,946,469 | 7,332,584  | 11,460,639 |
| 当期資金収支差額合計 | 11,693,720 | 4,458,850  | 6,128,198  | 7,615,966  | 9,912,426  | 3,914,426  | 8,952,132  |

( 小規模多機能 )



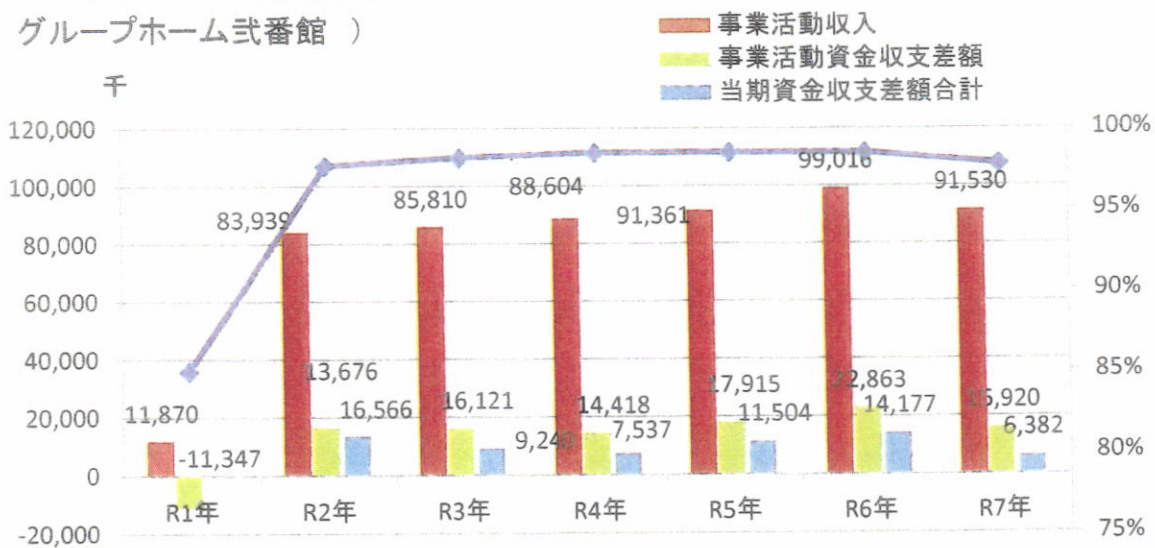
|            | R1年        | R2年        | R3年        | R4年        | R5年        | R6年        | R7年        |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 稼働率%       | 90%        | 78.7%      | 93.3%      | 91%        | 70%        | 79%        | 66%        |
| 事業活動収入     | 56,428,762 | 51,227,482 | 54,169,437 | 54,677,804 | 47,824,494 | 50,945,537 | 43,624,428 |
| 事業活動資金収支差額 | 13,773,740 | 7,312,360  | 9,389,639  | 8,802,867  | 5,614,738  | 14,209,769 | 7,923,860  |
| 当期資金収支差額合計 | 10,598,637 | 2,489,410  | 6,865,714  | 6,362,642  | 3,271,027  | 11,670,276 | 5,665,804  |

( グループホーム )



|            | R1年        | R2年        | R3年        | R4年        | R5年        | R6年        | R7年        |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 稼働率%       | 99%        | 97.7%      | 97.3%      | 98.9%      | 98.3%      | 97.7%      | 99.0%      |
| 事業活動収入     | 86,301,969 | 86,441,320 | 85,438,343 | 88,697,737 | 91,993,364 | 93,573,889 | 93,667,316 |
| 事業活動資金収支差額 | 17,580,834 | 17,603,004 | 15,946,463 | 15,108,939 | 15,165,074 | 15,872,108 | 9,991,484  |
| 当期資金収支差額合計 | 6,457,335  | 14,213,142 | 13,565,271 | 12,727,747 | 12,734,450 | 11,103,545 | 5,662,579  |

( グループホーム式番館 )



|            | R1年          | R2年        | R3年        | R4年        | R5年        | R6年        | R7年        |
|------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 稼働率%       | 85%          | 97.7%      | 98.2%      | 98.5%      | 98.5%      | 98.5%      | 97.8%      |
| 事業活動収入     | 11,869,992   | 83,939,446 | 85,810,492 | 88,604,294 | 91,361,183 | 99,015,994 | 91,530,053 |
| 事業活動資金収支差額 | -11,347,435  | 16,566,144 | 16,121,175 | 14,417,700 | 17,914,813 | 22,863,424 | 15,920,107 |
| 当期資金収支差額合計 | -111,834,526 | 13,676,282 | 9,239,983  | 7,536,508  | 11,503,919 | 14,176,732 | 6,382,052  |

## 8. 令和7年度の事業所評価

### 特別養護老人ホーム

- ①『入居者の望む暮らしとは何か』をアセスメントして個別援助計画を作成し、実現するための支援を多職種と協働しておこなう
- ・個別援助計画に沿って支援することが出来た。多職種と協力し、計画を見直しながら実施することが出来た（すもも）。
  - ・個別援助計画を作成はしたが、計画に沿ってというよりは、ユニット内で決めた援助になっていた。次年度は計画に沿ったケア実践をしていきたい。（あんず）
  - ・個別援助計画を作成することで考えながらケアを行えることもあったが、業務中心となってしまうこともあり、意識して今後は取り組んでいきたい。（うめ）
- ②積極的にリハビリに取り組み ADL の維持向上・拘縮予防に努める
- ・業務の合間にリハビリを実施し、ADL 向上や拘縮予防に努めることができた。（すもも）
  - ・業務に追われ取り組めないことがあった。（あんず）
  - ・業務改善により後期は個別リハ、一緒にタオルや洗濯物たたみに取り組めたと思うが、さらに関わりを持つことを今後の課題としていきたい。（うめ）
- ③日常のケアを振り返り、虐待につながる「かもしれない」不適切さ（の可能性）に気づくことで虐待を未然に防止する
- ・虐待に繋がるようなケアを行わないように意識して業務を行うことができた。言葉遣いで時々敬語が使われないことがある為、職員同士で注意し合える環境にする事で、より良いケアを実施することが出来ると思われる。  
（すもも）
  - ・外部研修で虐待に対する知識を身に付けられた。職員が虐待と気づかず利用者にそう思われる行為があると思うので特養内でも勉強していきたい。  
（あんず）
  - ・十分とは言えないがケアを行うにあたって尊厳・尊重に心がけていた。  
（うめ）

### ショートステイ

- ①安心・安全・快適に過ごして頂ける様な環境作りと笑顔溢れる接遇を行う  
（環境作りに関して）
- ・利用者様に安心・安全・快適に過ごして頂けるような環境作りに心がけ、努める事が出来た
  - ・利用者様それぞれの適した室温に合わせることなど、気温差のある時期の空調管理が難しかった

(接遇に関して)

- ・会話をする際、「です・ます」を心掛けているが、不十分な時もあった
- ・時間に余裕がない時には笑顔溢れる接遇が出来ない時もあった
- ・認知症の方で繰り返し同じことを言われる利用者様に対して笑顔で対応出来ない時もあった

②利用者様により良いケアを提供出来る様、日々業務を見直し、業務改革を行う

- ・日々利用者様の状態が変化していく中、職員間で話し合い利用者様一人ひとりのケアの見直しや、業務の見直しができた
- ・ADL 表など見直した内容の更新を忘れないよう心掛けた
- ・見直された業務については自分なりに実行できたが、自ら事業改革の提案をすることが少なかった

③連動性のある分かりやすい記録入力と申送り、「報・連・相」の徹底で情報共有を行う

- ・連動性のある分かりやすい記録入力を心掛けた
- ・記録、申し送りなど必要なことは繰り返し行っているので抜けは少ない様に感じる。細かい情報等共有は出来た様に思う
- ・業務効率が上がるよう見直し、良いケアが出来る様その日に合わせて考えた
- ・職員の休みや午後からの入浴、委員会活動、研修がある時は以前より各ユニット申し送りを行うことができた
- ・積極的に「報・連・相」に取り組めた。
- ・分からないことや心配なことは相談、質問、確認し行えた。
- ・看取りケアでの観察シートに記入しながら経過観察出来たと思う。

## グループホーム

①日々の記録を充実させ、個々の生活をしっかり把握し、問題点を見つけていく。カンファレンスで議題にあげ、アセスメントしより良いケアに繋げる

- ・日々の記録内容がうすく、日々のささいな出来事も記録出来ていない事があった。記録が出来ていない事やチーム内での業務内容の見直しやケアの見直しの話し合いが出来なかった事もあり、事故件数も上がった事に繋がったのではないかと思われる。

②各担当者の役割を強化し、個別リハビリや個別外出レクの充実を図る

- ・合わせたリハビリを実施することができ、身体機能の大幅な低下を防ぐ事ができた。または、身体機能の向上に繋がった方も見られた。外出レクは、計画はしていたが実施できた日が少なかった。

③職員同士助け合い、気配り、思いやりを大事にし、笑顔で何事にも積極的に取り組む

- ・職員同士、コミュニケーションが取れ、ミーティングでも意見の出しやすい

雰囲気を作ることができた。

### グループホーム式番館

- ①個々の入居者様に合った、日々の援助やコミュニケーションを通しその人の持てる力を発揮してもらえるケアを行う。
  - ・その人の持てる力を発揮してもらえるように支援出来ていたと思う。
  - ・コミュニケーションを苦手に思い出来ない時もあった。
  - ・ご家族や利用者様からの感謝の言葉が増えた。
  - ・つつい手を出してしまうことがあった。(着替えなど)
- ②基本に戻り職員の目線ではなく、利用者様の目線のケアを行う。
  - ・職員目線にならないようにお互い注意し合っていたが、忙しい事を理由に職員目線になっていることがあった。

### 小規模多機能

- ①「ここにいたい」と感じられる居場所作りを意識し、ケアプランを確認し一人一人に添った個別計画の作成と評価を行う
  - ・居場所づくりを意識した取り組みの具体性がなかった。
- ②小規模多機能の特性を生かした柔軟な対応を行い、新しい方に来ていただく為にアピールをする
  - ・退院後の通所日追加等、退院に伴う本人様の安全確保とご家族の負担軽減をサポート出来た。
- ③筋力低下防止の為に体操への参加、誤嚥性肺炎予防・感染対策の為に口腔ケアの徹底
  - ・体操参加の声掛けを意識的に行うことが出来たが参加されない方へのフォローをさらにする必要があると思う。筋力低下防止に努めたい。
  - ・食後の口腔ケアの徹底に取り組み、今まで歯磨きを出来ていなかった利用者様においては歯磨きの習慣が出来た。
- ④笑顔でケア、笑顔で接遇なる様に各自心掛けた
  - ・笑顔でケアは達成できた。接遇面においては言葉遣いが不適な場面もあった

### デイサービス

- ①担当利用者様のケアプランの中からその方の課題を探り、PDCA サイクルを実践する(毎月のモニタリングに反映させていく)
  - ・担当利用者様、一人一人の課題を探るには不足しているように感じる。観察や評価をしっかりと実施する必要がある。
  - ・全ての方に対しては出来ていなく、出来そうな方優先になってしまった。

- ・現状を把握するところまでは出来たがそこから次につなげる事が出来なかった。
- ②利用者様ファーストを意識し、業務優先にならないように職員同士が注意し合える雰囲気作りをする
- ・業務優先になりがちな場面では職員に声掛けし注意し合うことが出来た。特に入浴では利用者様のペースで出来る事をしてもらうように心がけた
- ③お試し利用時に利用者様から直接アセスメントし、ご希望や次回の楽しみに繋がる提案で新規獲得する
- ・お試し利用時に利用者様から直接アセスメントし、ご希望や次回の楽しみに繋がる提案で新規獲得する『です・ます』に注意し職員がお互いに注意できた

## 看護部

- ①看護師間の情報伝達、共通理解を高め、介護職とも病状の情報共有を行い、入居者の日々の健康観察や健康管理により、異常の早期発見、病院との連携にて入院に至ることなく施設生活を送ることが出来るように努めていく
- ・看護師間および介護職との情報共有が出来る様に日々の観察、報告に努めた
- ・今後も共通理解が出来る様に努めていきたい。
- ・日々の申し送りやミーティングを通して利用者の状態変化のリスク共有を行ってきたが、まだ職員間のばらつきがある。
- ・統一した伝達方法の確立が必要と思われる。
- ・看護師間の情報などは共有出来ていたと思う。
- ・介護職との病状の共有も出来ていたように思う。
- ・異常の早期発見も他の看護師と話し合い、病院への連絡対応もできていた。
- ・ほのぼのの管理日誌を用いて申し送りが共有できるようになったと思う。
- ・入院はその時によるが以前よりも少なくなったように思う。
- ②感染および褥瘡予防対策について、職員全体の知識と技術の向上に向けて実践的な研修会を開催する
- ・発熱時や嘔吐時の対応について各事業所がミーティングなどで感染委員が先導に立ち研修を行い、技術の向上に努めていた。
- ・嘔吐時の食器の取り扱いについては栄養部からの指摘もあり以後一回の嘔吐でもマニュアル通りに行えるようになっている。
- ・皮膚状態の観察や介護士からの情報のもと観察を行った。
- ・マットレスの知識がもっと共有できれば発生率は下がると思う。
- ・研修会に参加され理解をいただいているともうが、現場での実践の統一が不十分に思われる。
- ③業務分担の明確化と効率化を図る。業務分担を行い、役割を明確にして業務の効率化を図る

- ・問題があれば、その都度話し合いで業務改善をおこなっているため曖昧な業務は少なくなっていると思う。
- ・ショート・特養担当看護師への過剰な手伝いが、責任の所在を曖昧にさせていたこともあり、各担当が責任を持つことにしてから明確になり、業務の効率化が出来たように思う。
- ・業務の分担は状況に応じて行っているが、各自がその日の担当場所について責任をもって行うという意識を持つようにしないといけない。

## 栄養部

### ①新入社員への教育と職員レベルの底上げ

- ・新入社員が定着せず、思うように育てることが出来なかった。
- 職員レベルの底上げに関しては、出来る事は増えているものの、まだ課題も多い。また、少ない人員で、より効率的に仕事をする事が求められている。みんなが働きやすい環境をみんなで作っていくために、疑問に思った事や、確認したい事は、自己発信し、報告・連絡・相談・確認していく。お互いに声を掛け合って協力し、風通しの良い職場作りを目指す。また、自分の仕事を相手に頼むことが難しい職員もいる為、作業のマニュアル化（見える化）し、今よりもスムーズに仕事出来るような環境を整えていきたい。

### ②利用者様の状態や要望を把握し、多職種と連携を取りながら、最適な食支援を行う

- ・年2回の嗜好調査や、日常的にある利用者様からの要望などを、できる限り献立に反映させるよう努めた。今年度はパンの日を設けたり、相河祭りに合わせてお祭り弁当を提供したりと、新しい事もできて良かった。利用者様や介護職員ともコミュニケーションがとれており、以前より情報把握がスムーズになっていると思う。これからも、情報をしっかりと把握し、適宜最適な食事の提案が出来るよう努めていきたい。

### ③【報・連・相・確】の強化により、誤配膳や異物混入などの事故を防ぐ。

- ・事故は髪の毛の異物混入が2件、賞味期限切れの提供が1件、ヒヤリは髪の毛の混入未遂が1件です。身だしなみ、確認不足による事故が起きてしまった。器具洗浄時にも、ザルや泡立て器などに、スポンジの欠片などが付着していることが見受けられ、異物混入に繋がる可能性が高い。禁止食の確認は定着しているが、これから見落としのないよう、全員で声を掛け合って確認していく。

## 事務

### ①他部署と連携を強化し、迅速で丁寧な対応をする

- ・事前に事務所内で情報共有することで、お待たせすることのないスムーズな対応が概ねできた

事務所内や他事業所との連携不足があり、漏れがないようにしたい

### ②保存期間の過ぎた書類の廃棄を進めていく。また文書などの保存期間を目視できるようにしたり、書類のデーター化するなど管理方法を工夫する

- ・書類の保存期間について全事業所に周知したことで、全体として各々が整理整頓を進めることができた。分別は進んでいるものの廃棄までできていないので引き続き目標にする

### ③施設内、建物周辺、テラスなどの環境を整える

- ・花壇など地域の方に見られている意識をもって整備に取り組めた
- ・不要なものを処分するなど施設内外での美化を心がけた
- ・書類の廃棄を進めることはできなかった

## 9. 入所・退所状況

### 特別養護老人ホーム入退所（定員29名）

| 区分    |     | 新規入所者 |                       |    |    | 退所者      |            |            |                  |           |    |
|-------|-----|-------|-----------------------|----|----|----------|------------|------------|------------------|-----------|----|
|       |     | 在宅    | その他<br>(他施設から<br>転入等) | 病院 | 計  | 家庭<br>復帰 | 医療機<br>関入院 | 他施設<br>へ転出 | 在籍入<br>院中に<br>死亡 | 看取り<br>死亡 | 計  |
| 年     | 度 月 |       |                       |    |    |          |            |            |                  |           |    |
| 令和7年度 | 4   |       | 1                     | 1  | 2  |          | 3          |            |                  | 1         | 4  |
|       | 5   |       |                       | 1  | 1  |          | 1          |            |                  |           | 1  |
|       | 6   | 2     | 1                     | 1  | 4  |          | 2          |            |                  |           | 2  |
|       | 7   | 2     |                       | 1  | 3  |          | 2          |            |                  |           | 2  |
|       | 8   |       |                       |    |    |          |            |            |                  |           |    |
|       | 9   |       |                       | 1  | 1  |          |            |            |                  | 1         | 1  |
|       | 10  |       |                       |    |    |          |            |            |                  |           |    |
|       | 11  | 1     |                       |    | 1  |          | 1          |            |                  |           | 1  |
|       | 12  |       |                       |    |    |          |            |            |                  |           |    |
|       | 1   |       |                       |    |    |          |            | 1          |                  |           | 1  |
|       | 2   |       |                       | 1  | 1  |          |            |            |                  |           |    |
|       | 3   |       |                       |    |    |          | 1          |            |                  |           | 1  |
|       | 計   | 5     | 2                     | 6  | 13 |          | 10         | 1          |                  | 2         | 13 |

グループホーム入退所（定員18名）

| 区分     |    | 新 規 入 所 者 |                       |    |   | 退 所 者    |            |            |                  |           |   |
|--------|----|-----------|-----------------------|----|---|----------|------------|------------|------------------|-----------|---|
|        |    | 在宅        | その他<br>(他施設から<br>転入等) | 病院 | 計 | 家庭<br>復帰 | 医療機<br>関入院 | 他施設<br>へ転出 | 在籍入<br>院中に<br>死亡 | 看取り<br>死亡 | 計 |
| 年<br>度 | 月  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
| 令和7年度  | 4  |           |                       | 1  | 1 |          |            | 1          |                  |           | 1 |
|        | 5  |           |                       | 2  | 2 |          | 1          | 1          |                  |           | 2 |
|        | 6  |           |                       | 1  | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 7  |           | 1                     |    | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 8  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 9  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 10 |           | 1                     |    | 1 |          | 2          |            | 1                |           | 3 |
|        | 11 |           | 2                     |    | 2 |          | 1          |            |                  | 1         | 2 |
|        | 12 |           | 1                     |    | 1 |          |            |            |                  |           |   |
|        | 1  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 2  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 3  |           | 2                     |    | 2 |          | 2          |            |                  |           | 2 |
|        | 計  |           |                       | 7  | 4 | 11       |            | 8          | 2                | 1         | 1 |

グループホーム式番館入退所（定員18名）

| 区分     |    | 新 規 入 所 者 |                       |    |   | 退 所 者    |            |            |                  |           |   |
|--------|----|-----------|-----------------------|----|---|----------|------------|------------|------------------|-----------|---|
|        |    | 在宅        | その他<br>(他施設から<br>転入等) | 病院 | 計 | 家庭<br>復帰 | 医療機<br>関入院 | 他施設<br>へ転出 | 在籍入<br>院中に<br>死亡 | 看取り<br>死亡 | 計 |
| 年<br>度 | 月  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
| 令和7年度  | 4  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 5  | 1         |                       |    | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 6  |           |                       | 1  | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 7  |           |                       | 1  | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 8  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 9  |           |                       | 1  | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 10 |           |                       | 1  | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 11 |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 12 |           | 1                     |    | 1 |          | 1          |            |                  |           | 1 |
|        | 1  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 2  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 3  |           |                       |    |   |          |            |            |                  |           |   |
|        | 計  | 1         | 1                     | 4  | 6 |          | 6          |            |                  |           | 6 |

## 10. 事故発生状況（金沢市報告）

〔R7年4月1日 ～ R8年3月31日〕

| 部署             | 件数 | 内容                | 状況                                                                                                                                                                                              |
|----------------|----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特養             | 0  |                   |                                                                                                                                                                                                 |
| ショートステイ        | 3  | 右大腿骨転子部骨折         | センサーコールが鳴り、自室から音が聞こえたため駆けつける。ポータブルトイレとともに右側を下にして倒れているところを発見する。外傷は見られないが右大転子部から大腿部への痛みが強く救急搬送の運びとなる。検査の結果、右大腿骨転子部骨折と診断され入院、手術を行った。                                                               |
|                |    | 右側頭部打撲<br>右耳右腕挫傷  | 居室からトイレへの歩行中にふらつきがあり、職員が支えようとしたが間に合わず、フロア内の棚の角に右側頭部をぶつけ床に転倒した。右側頭部、右耳、右腕から出血、痛みあり受診。創部3か所に10針縫う処置を受ける。出血続き打撲していることから精査検査目的で入院の運びとなり2週間ほど入院された。                                                  |
|                |    | 頭部打撲<br>後頭部挫傷     | フロアから音があり駆けつけると車椅子ごと右側を下にして倒れているところを発見する。右後頭部に小さな裂傷あり、出血と皮下出血が見られた。クロピドグレル錠を服用しており止血に時間がかかり、救急搬送する。CTの結果、脳出血はないが、クロピドグレル錠内服しており、時間経過とともに出血する可能性が予測される為、10日間入院し経過観察となる。傷は縫合の必要は無くガーゼ、包帯で圧迫止血される。 |
| 小規模多機能         | 0  |                   |                                                                                                                                                                                                 |
| デイサービス         | 0  |                   |                                                                                                                                                                                                 |
| グループホーム        | 5  | 転倒                | 日中車椅子からベッドに移る際に、しっかり抱えれずそのまま滑り落ちるように床に尻もちをつき転倒された。右手の指の痛み訴えあり受診しレントゲン検査するも異常なし。施設へ帰られる。                                                                                                         |
|                |    | 左大腿骨転子部骨折         | 夜間帯居室から物音し訪室すると、ベッドサイドのポータブルトイレ横に座り込んでいる氏を発見する。転倒時より左大腿部の痛みの訴えあり、翌朝受診し検査の結果骨折との診断あり。入院となる                                                                                                       |
|                |    | 転倒（擦過傷）           | 夜間帯、他者の介助後居室から出て来られた氏の額に擦過傷あり。転倒した可能性が考えられた為、翌朝受診しCT検査、レントゲン検査行うが異常なく施設に戻られる。                                                                                                                   |
|                |    | 転倒<br>（外傷性くも膜下出血） | 夜間帯、居室より大きな音があり訪室すると左側に打つ伏せの状態転倒されていた。声掛けにはしっかり返事あり、意識レベルの低下なし。翌朝早めに受診し、CT検査の結果、脳内出血との診断あり入院となる。その日の夕方に亡くられる。                                                                                   |
|                |    | 転倒<br>（腰椎圧迫骨折）    | 夜間帯、他者の介助中にセンサーが鳴り訪室すると、居室内の入口付近まで歩かれており支えようとするが間に合わず転倒される。翌朝受診しCT検査、レントゲン検査行い腰椎圧迫骨折との診断あり。痛み止めと湿布の処方あり、施設での経過観察との指示ありグループホームへ戻られる                                                              |
| グループホーム<br>式番館 | 0  |                   |                                                                                                                                                                                                 |

12. 職員の採用・退職の状況

[R7年4月1日 ～ R8年3月31日]

| 職種別   |        | 施設長 | 事務員   | 直接処遇職員 |         |       |         |       |          | 栄養士 | 合計       |
|-------|--------|-----|-------|--------|---------|-------|---------|-------|----------|-----|----------|
|       |        |     |       | 生活相談員  | 介護職員    | 看護職員  | 機能訓練指導員 | ケアマネ  | 小計       |     |          |
| 令和6年度 | 採用     |     |       |        | 16 (5)  | 1 (0) |         |       | 17 (5)   |     | 17 (5)   |
|       | 退職     |     |       |        | 15 (3)  | 2 (1) |         | 1 (1) | 18 (5)   |     | 18 (5)   |
|       | 3月末職員数 | 1   | 3 (1) | 1      | 91 (34) | 5 (1) | 1       | 2 (1) | 100 (36) | 1   | 105 (37) |

( )はパート等非常勤人数

## 13. 施設職員の研修状況

〔R7年4月1日 ～ R8年3月31日〕

|         | 回数（延べ人数）  |                                                    |
|---------|-----------|----------------------------------------------------|
| 新人研修    | 1回（7名）    | 感染・褥瘡 事故防止 各部署の概要と活動 地域の社会資源<br>身体拘束排除・プライバシー保護 など |
| 職場外研修   | 41回（54名）  | 石川県社会福祉協議会 福祉総合研修センター等の研修会・オンライン研修                 |
| 職場内研修   | 11回（339名） | 身体拘束廃止・虐待防止について 看取り介護                              |
|         |           | 事故防止について 緊急時対応 ハラスメント防止対策                          |
|         |           | BCP業務継続計画に係る研修及び訓練（感染症）（自然災害）                      |
|         |           | 事業所発表（利用者様とその家族との関わり 認知症ケアについて）                    |
| 外部講師研修会 | 7回（146名）  | 新人接遇・接遇フォローアップ研修 リーダー研修 主任研修                       |
|         |           | 介護過程と記録 褥瘡予防のためのポジショニング                            |
|         |           | 口腔衛生管理 地域の社会資源について                                 |